

地方公共団体からの寄附の公表について

(公表年月日) 令和 8 年 8 月 5 日

(代表者) 国立大学法人高知大学長

受 田 浩 之

下記のとおり、地方公共団体から寄附金等を受領しましたので公表します。

受入期間: 令和7年4月1日～令和8年3月31日

寄附者 (地方公共団体)	寄附等の額	寄附等の内容	寄附の経緯
高知県	34,000,000 円	寄附講座「家庭医療学講座」への寄附	へき地における総合診療及びその基盤となる家庭医療学について、教育システムの開発及び研究を行い、高知県内の地域包括ケアシステムの普及、発展に資することを目的とする。
高知県	23,000,000 円	寄附講座「児童青年期精神医学講座」	高知県における発達障害の教育・研究・診療のための中核機関の設立に向け、高知大学医学部に児童青年期精神医学講座を開設する。高知大学医学部附属病院精神科をはじめとする基幹施設間の連携・養成体制の活性化、かかりつけ医と連携した地域支援体制の整備、医工連携による地域包括的な支援体制の整備や研究の活性化、平時の支援体制整備に基づく災害時の子どものこころケア体制の確立を図る。 このことを通じて、高知県の地域精神医療を担う精神科の医師確保やその育成を目的とする。

高知県	3,300,000 円	「令和 7 年度ビジネスで使えるデジタル入門講座」	IT 事業者や民間のパソコン教室が少ない中山間地域では、仕事の中にデジタル技術やデータ分析を取り入れる機会が不足しており、デジタルデバイドが生じている。 本事業では、中山間地域の小規模事業者のデジタルデバイドを解消し、デジタル化に取り組む企業の量的拡大を図ることを目的とする。
高知県	19,500,000 円	寄附講座「臨床研究フェローシッププログラム」	幡多保健医療圏を中心に、臨床研究者を目指す総合診療・内科系医師が、専門家の指導を受けながら臨床研究を学ぶことで、実践しながら課題を解決することができる「高知県臨床研究フェローシッププログラムプロジェクト」を実施することを目的とする。
高知県	18,000,000 円	「無痛分娩提供体制構築プロジェクト」	産科および麻酔科の連携を強化し、新たな領域として周産期産科麻酔の教育体制を構築することで、無痛分娩を含めた質の高い周産期医療を全県下で提供する基盤を作ることを目的とする。 このことを通じて、高知県の周産期医療で大きな課題となっている持続的な周産期医療体制の整備や、妊娠・出産・養育環境の大幅な改善を目指す。 本取り組みは、周産期医療の充実と少子化対策において重要な役割を果たし、本県の周産期医療における喫緊の課題であるマンパワー不足の解消にも貢献が期待される。

高知県	20,000,000 円	「災害・救急医療支援プロジェクト」	南海トラフ地震に備えた「前方展開型」の医療救護体制の更なる強化や、高齢化等に伴い増加する救急医療のニーズ等に対応するため、高知大学医学部において本県の災害・救急医療の実情等を反映した教育、研究、診療等の活動を実施する。 本事業により、本県の災害医療・救急医療を担う医師の確保及び育成等を図ることを目的とする。
高知県	5,000,000 円	寄附講座「土佐フードビジネスクリエーター人材創出講座」	高知県と国立大学法人高知大学との包括的連携に関する協定に基づき、高知県食品産業に競争優位性をもたらす研究開発人材を育成することを目的とする。
四万十市	1,000,000 円	泌尿器科学講座 教育・研究助成	泌尿器科学分野における教育・研究の支援を目的とする。